

ピアノ・ミュージックフェスティバル・セレクション6

1. 幸せの黄色いリボン／DAWN

SMF あり

★★★★☆

アメリカのポップスグループ「DAWN」が歌う、明るく軽快なメロディーラインとハーモニーが響き合ってサウンドに深みを出しています。テレビCMでも多く聴かれ、名曲中の名曲です。冒頭のメロディーは1拍目に休符があるため左手の音をよく聴いて入り、同音連打は丁寧なタッチで粒を揃えてフレーズをまとめましょう。[C]では、音の跳躍をカバーするために休符を取り入れながらアーティキュレーションを工夫したアレンジ内容になっています。スラーとスタッカートの対比に気を付けながら伸びやかに表現してください。跳躍音の精度を上げるためのコツは、「距離感をつかむこと」、「次の打鍵の準備をしておくこと」、「素早く移動すること」などに気を付けながら感覚的に弾けるよう習得しましょう。その際、「跳躍する直前の音が曖昧にならないこと」や、「跳躍した先の音が強くなるようにすること」も大切なポイントです。全体を通して移り変わる和音の響きや、特徴のあるラインも味わいながら美しい音色で奏しましょう。

2. 叱られたい！／チコ村民生と江戸川オールスターズ

SMF あり

★★★★☆

永遠の5歳児チコちゃんのデビュー曲で、ロックンロールのアレンジです。元気に楽しく演奏しましょう。

8分音符はスウィングしますので、リズムに気をつけて練習してください。右手の同音連打と[C]のユニゾン、弾きやすい指使いを考えましょう。全体に左手右手のタテのラインをきちんと揃えて演奏してください。

3. リュートのための古風な舞曲とアリアより「シチリアーナ」／O. レスピーギ

SMF あり

★★★★☆

バロック時代に独奏弦楽器として人気を博したリュートで演奏される楽曲です。ギターのような音でアルペジオ演奏が基本の曲ですが、ここではメロディーをより重視して、和声的なアレンジになっています。メロディーの動き、それに重なる和音をよく聞いて、一つ一つの音を丁寧に鳴らすようにしましょう。音の膨らみや強弱も、バックのデータなどを聞いてあまり極端にならないように注意しながら付けてみてください。ペダルは無理に付ける必要はありません。あるいはフレーズや音の流れを感じながら、自分なりのペダリングを考えてみましょう。

4. 廻廻奇譚／Eve

SMF あり

★★★★☆

疾走感あふれるマイナー系ロックチューンです。リズムが曖昧にならないよう、常にビートを意識して歯切れよく快活に演奏してください。両手のコンビネーションをスムーズに「ノリよく・ハッキリ・クッキリ」とパフォーマンスしましょう。メロディーの感じ方も大切ですが、しっかりボトム(左手パート)で支えて、確実な打鍵で多彩なリズムを表現してください。[B]・[C]の8分休符直後のメロディーは、あわてることなく明確なタッチで弾き、アーティキュレーションに気を配りながら、口ずさむようなイメージで弾くとよいでしょう。[D]最初の4小節間は、楽譜通りに手を交差させて演奏するか、または、左右の手の動き(音の取り方)を工夫することにより、交差させずに演奏することも可能です。ご自分に合ったスタイルで演奏してください。いずれにしても、「距離感をつかむこと」、「打鍵の準備を素早く行い、移動させること」などがポイントです。この部分のペダリングは、バス音に高音部が溶け込むように2小節単位で踏み替えるとよいでしょう。その他のペダリングについては、使い過ぎると逆効果になるため、ご自身の耳で聴きながらセンスよく工夫してみるとよいでしょう。全体的にメリハリを考えながら、テキパキと存在感のある魅力的なバランスの取れたサウンドに仕上げるのがコツです。

5. 宿命／Official 髭男 dism ※Music Pieces2019年11-12月号掲載楽譜と同楽譜です

SMF あり

★★★★☆

全体的に力強いリズムで、mp、pのところでも伴奏のリズムをはっきりとタイトに演奏するよう心がけましょう。一方でメロディーは伴奏のアーティキュレーションにつられず滑らかに、しっかりしたラインを描くようにしましょう。曲の場面ごとの対比を十分に演出して、スケールの大きな表現ができると良いでしょう。

6. チュニジアの夜

SMFあり

★★★★☆

言わずと知れたスタンダードジャズの名曲です。この曲集ではヒップホップとスウィングジャズを掛け合わせたちょっと珍しいアレンジになっています。左手の伴奏は休符が多くなっていますが、単純なスタカートになってしまわないように、全体にマルカートで、ペダルも必要以上に踏まないようにしましょう。

ヒップホップ、ラップなどの雰囲気などを考えて、裏拍をしっかり意識して演奏できるようにしてみてください。そしてデータに乗って身体も気持ちもノリノリで弾きましょう。とても楽しい体験ができると思います。

7. オーヴァージョイド／スティーヴィー・ワンダー

SMFあり

★★★★☆

数々の名曲を生み出し、世界中で愛され続けているスティーヴィー・ワンダーの心を和ませるミディアム・バラードです。2小節のドラムによるイントロを聴いてから弾き始めます。[A]はコードの微妙な変化を楽しみましょう。[B]からメロディーが始まりますが、内声や左手との弾き分けを意識し、メロディーが浮き出るように演奏します。D.S.後、Freely部分をアドリブで弾くと、より変化が生まれ、魅力的な演奏となるでしょう。また、全体を通して、倚音が絶妙なアクセントをかもしだしているため、そのインパクトのある響きを大切にしてください。

8. 環／高木 正勝

★★★★☆

流れるように、なめらかに演奏しましょう。メインテーマのメロディー[D]・[E]・[F]・[G]・[J]・[K]は、付点のリズムが甘くならないよう気をつけながら、フレーズを大きく捉えてください。右手は、メロディーの輪郭をはっきりと聴こえるよう意識しましょう。音価が短い音符は、粒をそろえて転がるように弾くことで、前向きな音楽の流れを作ることができます。左手は付点やシンクォーションが多いため、リズムが崩れやすくなります。1拍目と3拍目の頭を大切に演奏してください。一曲を通してテンポや曲調に大きな変化がない分、ダイナミックな部分と繊細な部分を弾き分けられると、良い演奏になるでしょう。

9. ダンサー・イン・ノーホエア／狭間 美帆

SMFあり

★★★★☆

アメリカで活躍、グラミー賞にもノミネートされた日本人ジャズ・アーティストによるオリジナル作品で、管・弦楽器を含んだ大編成のバンドのために作られた曲です。全般に複雑な変拍子を多用したトリッキーなフレーズの絡み合いが特徴です。変拍子は数としてかぞえるよりもメロディーの流れとして覚えてしまうのが得策です。何度も頭の中で歌うことによって自然にリズムが取れるようになるでしょう。

前半と終盤のスローでメロディックな部分は適度にゆれを持たせ管楽器のように呼吸をとって、一方中間の速いキメやリフはタイトにキレのあるタッチで、対比を表現しましょう。タッチの均一さやレガートにこだわりすぎず、ビートの核となる音を強調したりフレーズの切れ目を作ることも、リズムをはっきりさせる点で、またジャズらしさの表現として有効でしょう。

10. キューバ序曲／G. ガーシュイン

SMFあり

★★★★☆

この曲は題名の通りキューバのリズムが基本となります。リズムカルにまた軽快に楽しく演奏してください。またアクセントやアーティキュレーションはよく注意してみてください。リズムカルなところが多い楽曲ですが[F]の部分は横に流れる1つ1つの旋律をよくみて繊細に大切に演奏してください。[H]からは雰囲気ガラッと変わります。1つ1つのサウンドを大切に表現豊かに。また盛り上がるころはダイナミックに演奏してください。[J]からはまたキューバのリズムが戻ってきます。しっかり場面が変わったことがわかるよう演奏の場面転換を心がけてください。この曲はいろいろな表情がある曲なので、その変化をさまざまな色で表現してください。